

第4 再整備の基本方針

第4 再整備の基本方針

1 計画の基本理念

(1) 基本理念

『久保田城、そして 千秋公園として育まれてきた魅力（財産）を
活かすことで、憩いとにぎわい空間を再生する』
～歴史の風情と自然に包まれ、人集い花かおる千秋の園～

千秋公園は、まちづくりや政治の中心であった秋田藩佐竹氏20万石の居城「久保田城」を礎とし、祖庭・長岡安平が手がけた公園として、設置以来120年以上にわたり、市民の憩いやにぎわいの空間として親しまれてきました。

近年、施設の老朽化やさくらの老木化が進んでいる現状により、来園者数は頭打ちとなっています。しかしながら千秋公園には、これまで育まれてきた歴史、中心市街地にあつて豊かな自然、四季折々の花や緑、水辺などの修景という財産ともいべき魅力があります。

本計画では、これらの魅力（財産）をより活かす整備をすることで、市民の憩いの場として、また観光客も含んだにぎわいの空間として、再生させようとするものです。

(2) 基本方針

千秋公園の現状、これまでの整備状況、中心市街地などの周辺状況の変化、市民等意向調査を踏まえ、次のとおり整備方針を設定します。

基本方針①

緑や花と風景の再生による、新たな魅力の創出

- さくら、つつじ、ハスをはじめとした四季折々の草花や緑により、彩り豊かな公園とします。
- 秋田市街を望む良好な眺望と、明るく開放的な空間を確保します。
- 市街地に残る貴重な樹林地の保全と利活用を進めます。
- 園内に生息・生育している貴重な動植物を保護し、次世代へつなげていきます。

基本方針②

歴史的遺構の保全と継承、さらなる活用

- 城跡公園としての魅力を向上させるため、歴史的資料の有無や整備効果等を考慮して取捨選択した歴史的建造物について、復元整備を行います。
- 復元整備が難しい施設についても、案内板の整備や佐竹史料館での展示等により、施設の歴史の継承を図ります。
- 正確な歴史情報を利用者に伝えるため、歴史案内板の配置と表示内容の見直しを図り、標識の充実を図ります。
- 久保田城跡の特徴である自然地形や土塁の保全を図ります。
- 景観阻害要素となっている樹木や電線等の整理を行います。
- 園内に立地する私設建造物等、景観的に違和感のある施設の景観誘導を図ります。
- 佐竹史料館を、郷土学習の推進と文化遺産の保存・公開の拠点、観光振興やまちづくりに寄与する施設として改築します。

基本方針③

多様な目的への配慮、だれもが利用しやすい公園づくり

- 多様な利用形態に配慮し、アクセス性・利便性の向上を図ります。
- 動線や利用拠点を見直し、利用しやすい空間を創出します。
- 施設の充実を図り、だれもが憩い、くつろげる公園とします。

基本方針④

中心市街地との連携、人々の交流拠点づくり

- 芸術文化施設との相互利用を促し、まちの活性化に貢献します。
- 親水空間（外堀等）として、景観や魅力の向上を図ります。

基本方針⑤

公民連携による公園の運営マネジメントの推進

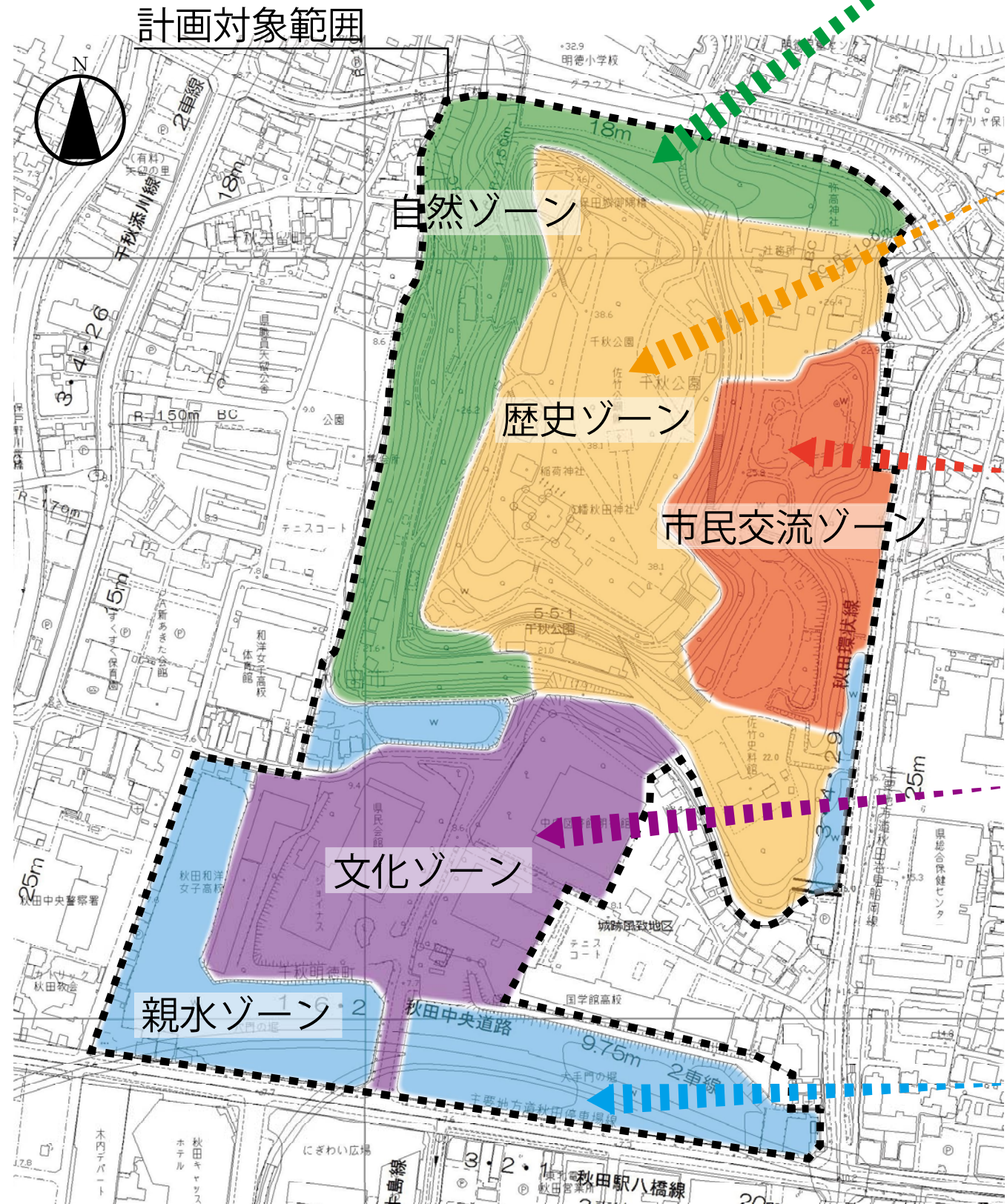
- 民間事業者との連携等により、公園の魅力や管理の質の向上を図ります。
- ソフト事業やPR活動の活性化を図り、公園のにぎわいを創出します。
- 公園の運営・維持管理機能の強化を図ります。

2 再整備の全体方針（体系図）



注) 事業スケジュールについて、施策によっては短期から取組を進めるものの、継続性が高い項目は、短期、中期、長期に至るものとした。


ゾーニング別の再整備方針図



自然ゾーン

■ ゾーンコンセプト
中心市街地に残された豊かな樹林を守り育てるとともに、人々が散策や観察等を通じて身近な自然と触れ合う空間として整備する。


①主な利用イメージ	・散策や花・緑の観賞、生き物の観察、ウォーキングやジョギング
②整備方針の内容	・本園の大きな魅力の一つである花や緑を再生する。 ・市街地を望む良好な眺望と、明るく開放的な空間を確保する。
③主な整備メニュー	・樹林地の適正管理 ・景観阻害要因の改善と開放的な空間の確保 ・フォトスポット、解説板および案内板の整備



歴史ゾーン

■ ゾーンコンセプト
久保田城跡の証である地形や歴史的建造物等を通して、歴史と触れ合うとともに、情緒あふれる空間として整備する。


①主な利用イメージ	・歴史散策や観賞、歴史・芸術・文化的イベントへの参加
②整備方針の内容	・歴史的な検証や整備効果を考慮し、歴史的建造物の取捨選択的な復元整備を行う。 ・歴史的な雰囲気が感じられる景観整備を行う。
③主な整備メニュー	・黒門の整備、御出し書院の平面表示による復元 ・佐竹史料館の改築 ・さくらの再生



市民交流ゾーン

■ ゾーンコンセプト
花や緑に囲まれた広場での自由な遊びや憩い、人々が集う場として公園の拠点的な空間として整備する。


①主な利用イメージ	・遊びや憩いを中心とした利用、イベントへの参加
②整備方針の内容	・園内窓口・情報発信の拠点として、アクセス性や案内機能の強化を図る。 ・遊びや憩いの空間として、魅力の向上や充実を図る。
③主な整備メニュー	・公園管理事務所の再整備 ・駐車場の拡充や動線の拡幅 ・遊び（遊具施設）や憩い（花修景、花壇）の整備



文化ゾーン

■ ゾーンコンセプト
公園エントランスとしての機能を強化し、県・市連携文化施設（計画中）や旧県立美術館（利活用予定）と一体的な交流拠点として整備する。


①主な利用イメージ	・芸術文化施設からの公園の利用
②整備方針の内容	・芸術文化ゾーンとして、公園エントランスとしての魅力や景観を向上させる。 ・利用動線（中土橋から大坂）までの利便性の向上を図る。
③主な整備メニュー	・エントランスの整備（中土橋通り、松下門跡） ・冬季の利用促進（中土橋から大坂の融雪化） ・中心市街地と連携したイベントへの協力



親水ゾーン

■ ゾーンコンセプト
久保田城の遺構（外堀や内堀）、花（ハス）の眺望および散策を通して、中心市街地から人々を千秋公園や芸術文化施設へ誘う空間として整備する。

①主な利用イメージ	・中心市街地からの花や水辺の散策や観賞（観光含む）
②整備方針の内容	・中心市街地に隣接するポケットパークを起点とした外堀沿いの遊歩道（花ハスの鑑賞）を整備する。 ・中心市街地から公園へのエントランス部分となる内堀周辺の景観や環境の向上を図る。
③主な整備メニュー	・ポケットパーク（親水広場）からつながる遊歩道（デッキ）の整備 ・ハスの適正管理と有効活用 ・内堀周辺の景観整備（老朽化施設の撤去、休憩施設の整備） ・内堀、黒門の堀の水質浄化



4 利用動線計画

これまでの検討や再整備基本方針を踏まえ、次のとおり動線計画を示します。

(1) 動線の基本方針

- 公園としての歴史や現状の自然を活かすため、動線確保を目的とした地形の改変や樹木の伐採等は原則行わず、既存園路を活用します。
- 城跡としての複雑な園路配置と急峻な地形により、公園施設の位置関係や移動動線がわかりづらいため、利用者の目的別（自然・歴史）に回遊性に配慮したモデルルートを設定し、利用者に周知することにより、利便性の向上を図ります。
- 公園利用者の安全性を確保するため、園内の乗り入れ可能車両は、原則として管理車両等（障がい者用車両、園内私設建造物所有者車両、業務用車両）のみとします。
- 歩行者動線と車両動線が共存する園路は、舗装の明確化等による歩車分離を図り安全性を高めます。

(2) 車両動線計画

- 中土橋から二の丸エントランスまでの区間は一般車両通行可としますが、駐車台数が限られることから、障がい者用車両、公園利用者送迎車両（タクシー等）等の通行を基本とします。
- 市民広場北側の彌高神社前は、現状で一般車両が進入、駐車している状況ですが、歩行者の安全性を確保するため、管理車両や許可車両および彌高神社利用車両の通行に限定します。
- 本丸北側の斜路は、原則として管理車両やその他許可車両の本丸への車両アクセス動線としますが、本丸へのバリアフリー化を図るため、本丸北側に障がい者等駐車場を確保します。

◇ 駐車場の拡充整備

現児童遊園地（県立脳血管研究センター前）に新設駐車場を整備し、一般車両の公園への乗り入れの制限を強化します。

◇ 二の丸エントランス整備

車両転回可能な車寄せと、障がい者用車両および観光タクシーの駐車場を整備します。

(3) 歩行者動線計画

ア 公園アプローチ動線計画

(ア) 新設駐車場からのアプローチ動線

新設駐車場からの公園アプローチ動線は、唐金橋から黒門を経由するルートと、駐車場西側斜面の階段ルートとの2ルートとしますが、千秋公園の歴史的観点と比較的緩勾配であることによるアクセス性等を考慮し、メインアプローチ動線は、本来の登城ルートであった唐金橋から黒門経由ルートとします。

(イ) 秋田駅方面からのアプローチ動線

秋田駅方面からの利用者のアプローチ動線は、中土橋、文化ゾーンから大坂を経由するルートと、唐金橋から黒門を経由するルートの2ルートとしますが、公園(市民広場)までのアプローチ距離が短く比較的緩勾配であることと、歴史的観点等を踏まえ、唐金橋から黒門を経由するルートを中心にメインアプローチ動線に設定します。

(ロ) 中心市街地からのアプローチ動線

公園南側の中心市街地側からの公園アプローチ動線は、中土橋、中土橋通りから大坂を経由するルートと、東側ポケットパーク、唐金橋から黒門を経由するルートおよび西側ポケットパーク、佐竹小路から大坂を経由するルートの3ルートとします。

○ 唐金橋・黒門ルートの整備

かつての正式な登城ルートとして、黒門の復元整備と唐金橋の部分改修整備を行い、城跡公園として歴史的価値の向上に努めます。

○ 新設駐車場西側階段の改修

新設駐車場西側斜面階段については、スロープの整備は困難ですが、動線としての機能を強化するため、幅員の拡幅と、ユニバーサルデザインに配慮した手すりの整備等を行います。

○ 東側ポケットパークの改修

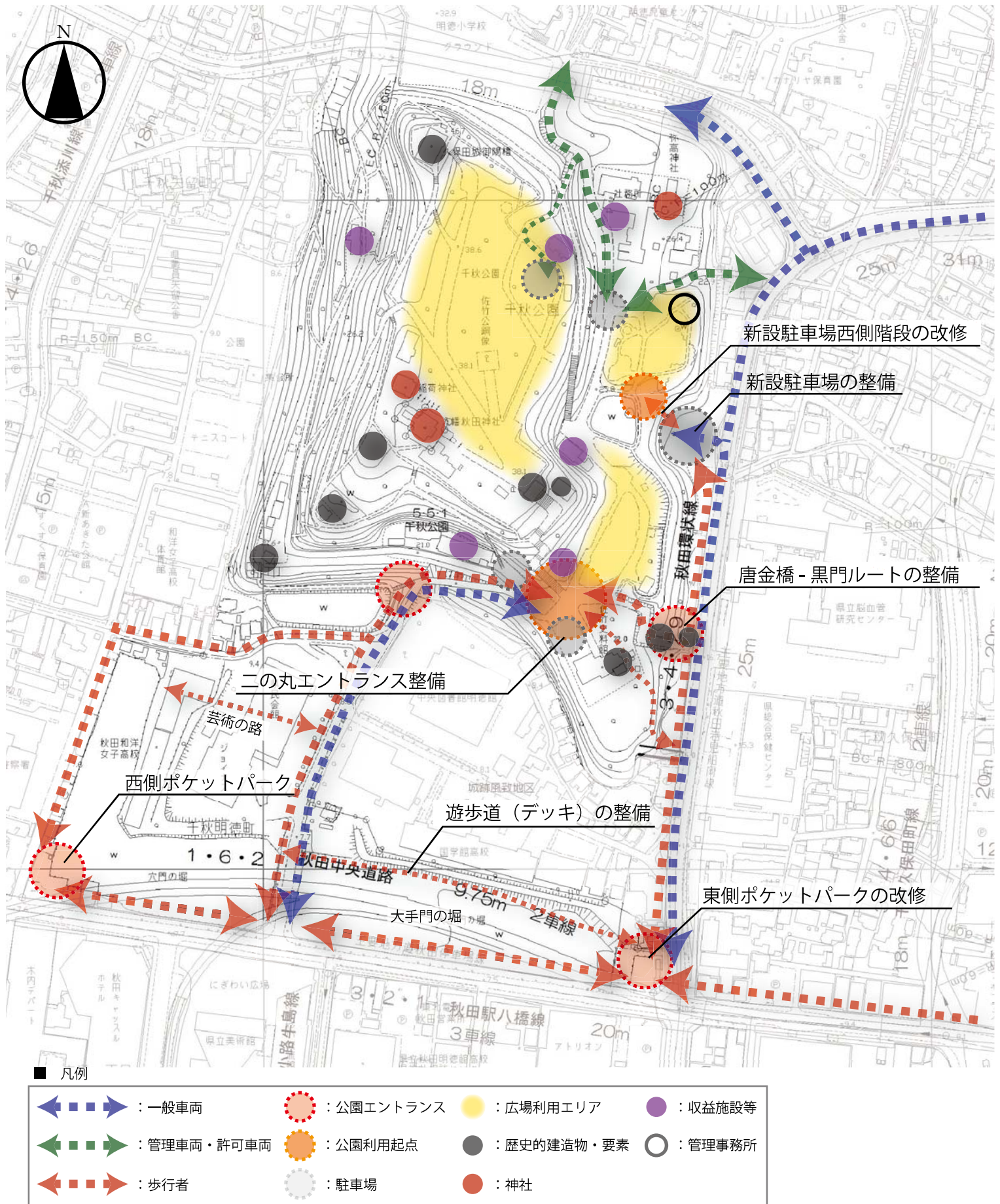
秋田駅方面からの利用者の最初の公園エントランス空間となる東側ポケットパークに、千秋公園(久保田城跡)であることを示すとともに、中土橋や黒門へと誘導するサインを整備します。

○ 遊歩道（デッキ）の整備

ハスを眺める遊歩道（デッキ）を整備し、千秋公園へつながる歩行者動線を形成・強化します。

※次頁に動線計画図【車両動線・歩行者動線(公園アプローチ動線)】を示します。

動線計画【車両動線・歩行者動線（公園アプローチ動線）】



イ 公園内動線計画

園内における歩行者動線は、基本方針に示したとおり、地形の改変や樹木の伐採等を避けるため、新たな園路は整備せず、既存園路を活用する計画とします。

ただし、城跡としての複雑な園路配置や急峻な地形により、目的地までの移動ルートがわかりにくいため、自然と歴史の目的別のモデルルートを設定し、案内板等による周知を行い、移動ルートを明確に示すことにより、利用者の利便性の向上を図る計画とします。

【公園内動線設定方針】

- 各ルートは、公園（市民広場・本丸広場）のメインエントランスとなる「二の丸エントランス」と「胡月池の北側」を行動起点として設定します。
- 設定した拠点等を経由しながら、回遊性の高い動線とします。
- 主要な拠点や見どころを経由し、比較的短時間で周遊可能な主動線と、ゆっくりと多くの見どころをまわることができる副動線を設定します。

■ 自然散策ルート

公園利用起点から、次に示す自然拠点等を経由するルートを設定します。

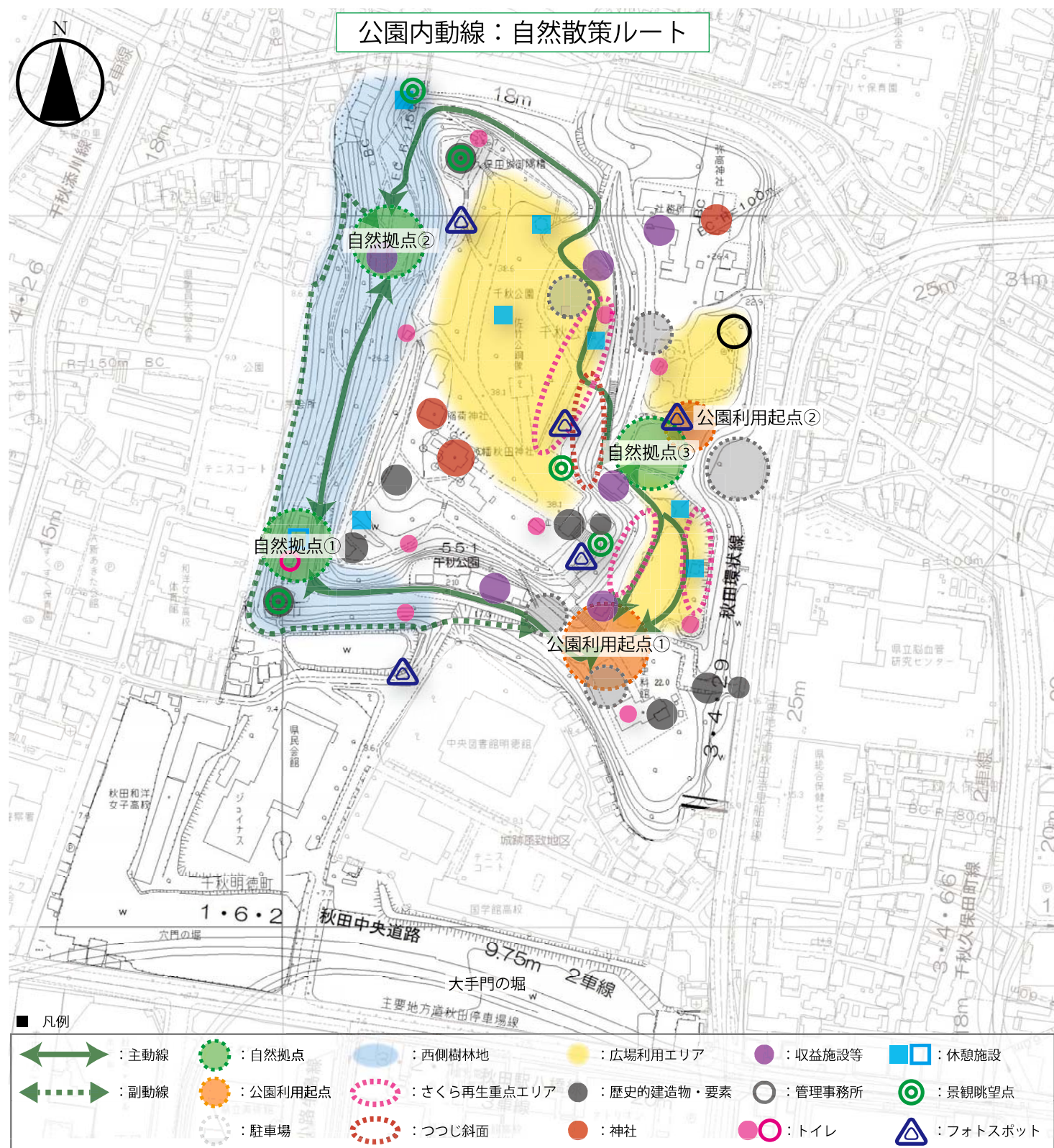
	拠点名称	見どころ・施設等
◇自然拠点①	公園管理事務所跡地	トイレ・休憩施設・自然解説板・案内板 ほか
◇自然拠点②	あやめ園周辺	あやめ園・自然解説板・案内板・あやめ茶屋 ほか
◇自然拠点③	胡月池周辺	胡月池（ハス・藤）・自然解説板・案内板 ほか
◇西側樹林地		樹林・自然解説板・案内板・散策路 ほか
◇さくら再生重点エリア		さくら
◇つつじ斜面		つつじ

■ 歴史散策ルート

公園利用起点から、次に示す歴史拠点等を経由するルートを設定します。

	拠点名称	見どころ・施設等
◇歴史拠点①	佐竹史料館	佐竹史料館・歴史解説板・案内板 ほか
◇歴史拠点②	表門周辺	表門・御物頭御番所・歴史解説板 ほか
◇歴史拠点③	久保田城御隅櫓	久保田城御隅櫓・案内板 ほか
◇歴史拠点④	黒門周辺	黒門・唐金橋跡・歴史解説板・案内板 ほか
◇歴史拠点⑤	御出し書院跡	御出し書院跡・歴史解説板・案内板 ほか
◇歴史拠点⑥	茶室周辺	茶室・案内板 ほか
◇歴史拠点⑦	鐘楼周辺	鐘楼・案内板 ほか

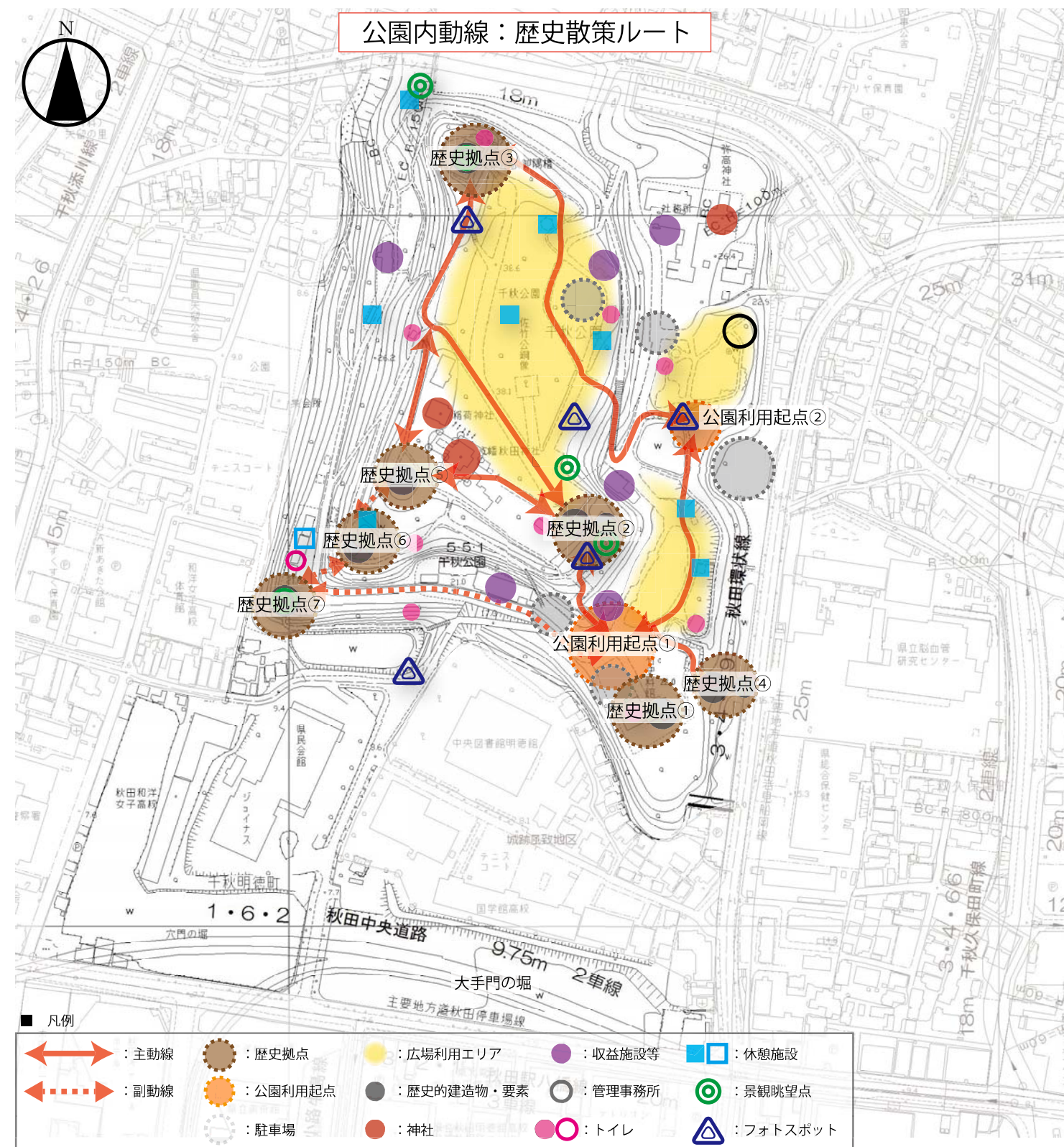
※次頁に動線計画図【歩行者動線:公園内動線】を示します。



●歩行者動線計画：公園内動線【自然散策ルート】

・公園利用起点から、次に示す自然拠点および豊かな自然が残る西側樹林地内や四季折々の花や緑を経由し、回遊するルートを設定する。

◇自然拠点①	公園管理事務所跡地…トイレ、休憩施設、案内板ほか
◇自然拠点②	あやめ園周辺…あやめ園、自然解説板、案内板、あやめ茶屋ほか
◇自然拠点③	胡月池周辺…胡月池（ハス・藤）、自然解説板、案内板ほか
◇西側樹林地	樹林、自然解説板、案内板、散策路ほか
◇さくら再生重点エリア	さくら
◇つつじ斜面	つつじ



●歩行者動線計画：公園内動線【歴史散策ルート】

・公園利用起点から、次に示す歴史拠点を中心に、回遊するルートを設定する。

◇歴史拠点①	佐竹史料館…佐竹史料館、歴史解説板、案内板ほか
◇歴史拠点②	表門周辺…表門、御頭御番所、歴史解説板、案内板ほか
◇歴史拠点③	久保田城御隅櫓…久保田城御隅櫓、案内板ほか
◇歴史拠点④	黒門周辺…黒門、唐金橋跡、歴史解説板、案内板ほか
◇歴史拠点⑤	御出し書院…御出し書院跡、歴史解説板、案内板ほか
◇歴史拠点⑥	茶室周辺…茶室、案内板ほか
◇歴史拠点⑦	鐘楼周辺…鐘楼、案内板ほか